

eco活動見学会2021 参加者募集



下水処理の方法を見学して、仕組みを学ぶことで、下水道の正しい利用の仕方や大切な水環境を守るために、自分達にできる事は何かを考える良い機会

下水道の役割のひとつである「下水道資源の有効利用」下水が自動車燃料やリン資源として生まれ変わる過程を見学することで、循環型社会への関心を深めよう



見学場所：神戸市東灘処理場

**集合場所：現地（東水環境センター2階管理棟）に集合
所在地、最寄り駅等の詳細については、下記のURLをご参照ください**

<https://www.city.kobe.lg.jp/a78445/kurashi/sumai/sewage/pr/tour.html>

**日 時：2021年12月1日(水) 13:55 集合
14:00 ~ 15:45 見学
15:45 ~ 16:00 質疑応答
16:00 現地で解散**

参加費：無料

募集対象者：神戸大学学部生及び院生（留学生含む）

募集人数：先着20名程度（20名程度になり次第、締め切ります）

募集締切：2021年11月22日(月)15:00

応募方法：メールで受け付けますので、氏名、フリガナ、所属の学部・研究科名、学年、学籍番号、連絡先メールアドレス、電話番号を記載して、ご応募ください。

**応募先：神戸大学施設部設備課環境管理グループ
mail: shis-kankyo@office.kobe-u.ac.jp**

※ 応募する際には、「学生教育研究災害傷害保険」に加入してください。学務部学生支援課が窓口です。

※ 感染症予防のため、マスク着用で参加ください。

主催：神戸大学環境保全推進センター

神戸市東灘処理場について

1995年1月の阪神・淡路大震災により、最も大きな被害を受けました。今では復興を遂げただけでなく、再生エネルギー創出の機能を有し、国内外から注目される処理場になりました。2012年には、国から「水・環境ソリューションハブ」に認定され、神戸が蓄積してきたさまざまな経験を国内外に発信するための情報発信拠点として位置づけられています。

見学の主な見どころ

こうべバイオガス事業



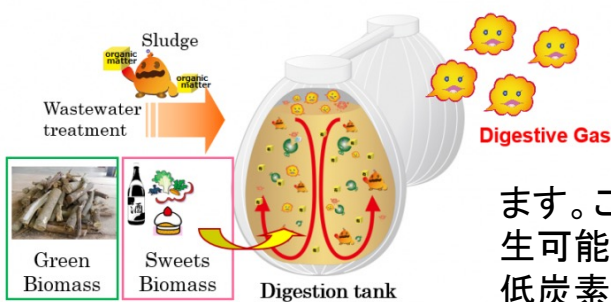
こうべバイオガスステーション

水処理工程から発生する汚泥を濃縮後、減量化と安定化を目的に嫌気性消化しています。このときに発生する消化ガス（成分：メタン約60%、二酸化炭素約40%）をメタン濃度98%に精製し、「こうべバイオガス」として2008年4月から自動車燃料として活用しています。

2010年10月からは更に高度精製し、都市ガス導管への注入を開始しました。

いずれも日本初の取り組みです。

KOBE グリーン・スイーツプロジェクト



2012年1月から、国土交通省下水道革新的技術実証事業として、未利用の地域バイオマス（食品系、木質系）を下水汚泥に添加し、ガス発生量の増加と汚泥処理効率化を目指しています。

これからも、こうした取り組みを通じて、再生可能エネルギーの地産地消モデルとして、低炭素・循環型社会の構築に貢献していきます。

KOBEハーベスト（大収穫）プロジェクト



スイートコーン

2013年1月から、下水の消化汚泥からリンを高純度に精製して取り出し、肥料として農地に還元する実証実験を行い、資源の有効活用に取り組んでいます。

実証実験終了後は、下水道から回収した、高品質な「こうべ再生リン」を使用した園芸用肥料を、水ingエンジニアリング株式会社と協同開発し、2019年にJA兵庫六甲にご協力いただき、販売を開始しました。